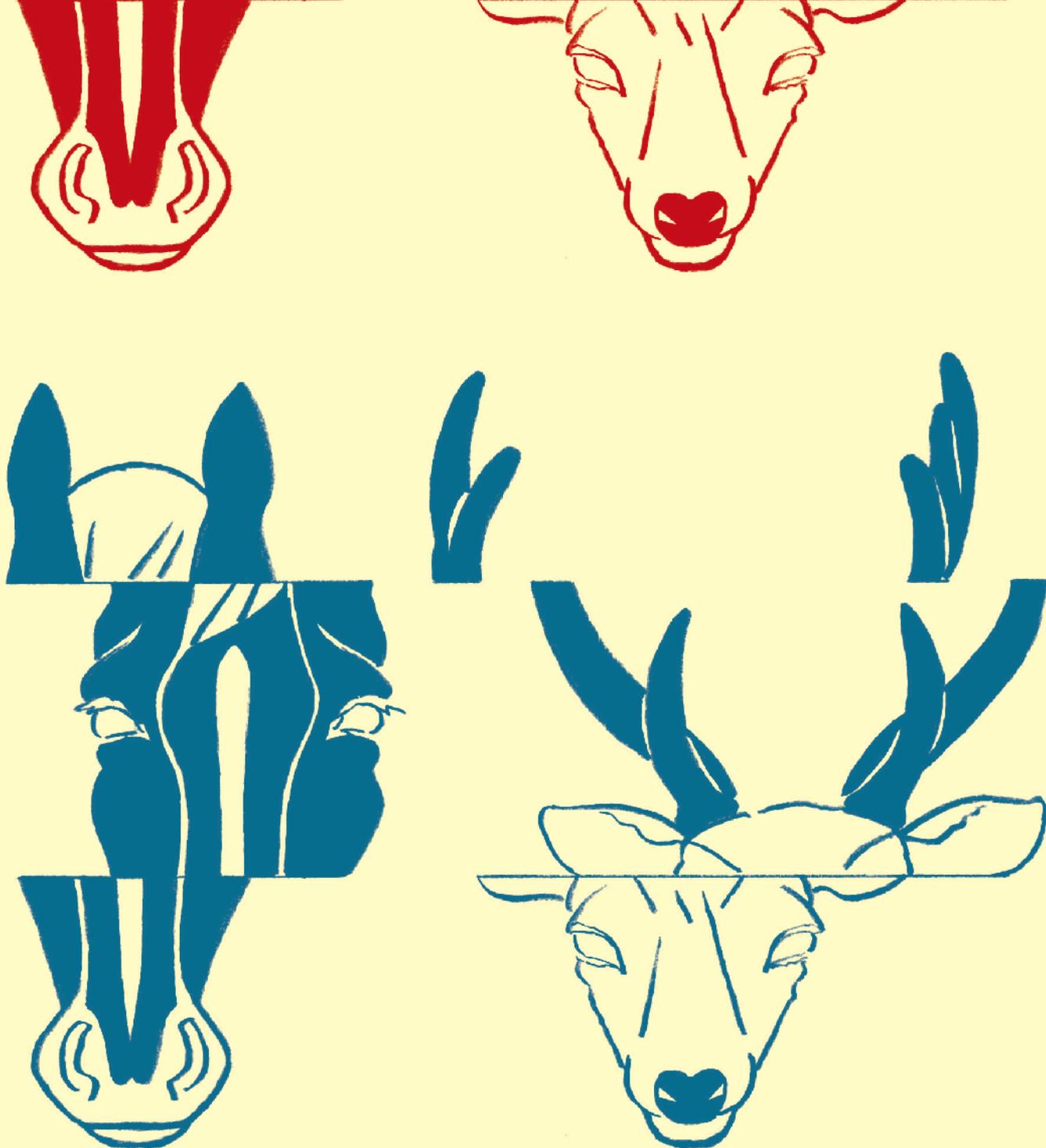


バンカートスクール 2023年1月ー3月 募集案内



# BankART school

バンカートスクールは、横浜・馬車道に残る歴史的建造物を芸術文化に活用したBankART1929のプログラムのひとつとして、2004年4月に開校しました。と書いてから早18年。場所は「馬車道に残る歴史的建造物」から日本郵船の倉庫、関内の泰生ビルへと引越し、さらにBankART Station (新高島駅)、BankART KAIKO(馬車道駅)へと移転しましたが、中身は大して代わり映えしません。バンカートスクールの守備範囲は美術・演劇・写真・建築・音楽・ダンスなどアート全般におよび、講師は各ジャンルの第一線で活躍する人たちばかり。子供向けのワークショップから専門性の高い講座までレベルはさまざまですが、いずれも少人数制で、講師と受講者同士の親密な交流を重視する現代の寺子屋をめざしています。この18年の間に324講座、述べ1,120人の講師の方々をお招きしました。受講生は4歳のおじょうちゃんから85歳のおいちゃんまで、述べ5,220人をこえます。ぶっちゃけ話、これらの講座をうけたところで即戦力にはならないし、なにか資格が得られるわけでもありません。受けるだけではなんの役にも立たないのです。むしろここから自分たちでなにを立ち上げていくのか、それが問われているのです。(バンカートスクール校長 村田 真)

村田 真 + 和田菜穂子「美術館の読み方、楽しみ方」／小原真史「写真・展示の政治学」／ARICA「ARICAの在処、演劇の総合力」



火 19:30 - 21:00

## 村田 真 + 和田菜穂子

### 「美術館の読み方、楽しみ方」

①1/31 ②2/7 ③2/14 ④2/21  
⑤2/28 ⑥3/7 ⑦3/14 ⑧3/21

和田+村田  
コンビによ  
る4年ぶり  
の美術館講  
座。今回は



総集編として、これまで触れなかった美術館、その後できた美術館、もういちど語りたい美術館などを紹介します。もちろん初めての方も大歓迎。和田は主に建築・デザインの観点から、村田は主に歴史・コレクションの観点からお話します。

紹介予定の美術館：東京国立博物館、大原美術館、聖徳記念絵画館、旧神奈川県立近代美術館、国立西洋美術館、原爆の図 丸木美術館、山梨県立美術館、アートサイト直島、金沢21世紀美術館、インターメディアテク、角川武蔵野ミュージアム、江ノ浦測候所など

むらた・まこと | 美術ジャーナリスト、画家、BankARTスクール校長。1997年よりアートサイト「artscape」にレビューを執筆。

わだ・なほこ | 東京建築アクセスポイント代表理事、東京家政大学准教授。慶應義塾大学大学院修了。建築ガイドツアー、国際巡回展「アルヴァ・アアルト もうひとつの自然」など企画。

水 19:30 - 21:00

## 小原真史

### 「写真・展示の政治学」

①1/25 ②2/1 ③2/8 ④2/15  
⑤2/22 ⑥3/1 ⑦3/8 ⑧3/15

本講座では、これまで小原が企画してきた展覧会や著作をベースにしたレクチャーを行います。幕末に写真術が



渡来した日本において写真史と近代化の歴史は切り離し難いものとしてあります。これまで膨大に撮影されてきた写真から日本という国家にとって近代とはいかなるものだったのかを浮かび上げさせたいと思います。また、近著に関連して博覧会というスペクタクルな展示空間やキュレーションという技法についてもご紹介します。「戦中・戦後の〈報道写真〉の連続性」や「ヴァナキュラー写真と遺影の誕生」「博覧会と〈人間の展示〉」「写真的記憶と抵抗」などがテーマになります。

こはら・まさし | キュレーター／東京工芸大学准教授。1978年愛知県生まれ。IZU PHOTO MUSEUM 研究員として荒木経惟展、宮崎学展、増山たづ子展、小島一郎展などを担当。そのほかに「スペクタクルの博覧会」展(恵比寿映像祭2022)など。単・共著に『帝国の祭典—博覧会と〈人間の展示〉』『富士幻景—近代日本と富士の病』『時の宙づり—生・写真・死』『戦争と平和—〈報道写真〉が伝えたかった日本』『森の探偵』など。監督作に「カメラになった男—写真家中平卓馬」がある。

木 19:30 - 21:00

## ARICA

### 「ARICAの在処、演劇の総合力」

①1/26 ②2/9 ③2/23 ④3/2  
⑤3/9 ⑥3/16 ⑦3/23 ⑧3/30

本講座では、演劇カンパニーARICAを構成する8人のメンバーが、ARICAと自身のふだ



宝は闇 / LOVE IS BLIND  
撮影：宮内隆

んの仕事の両面について語ります。メンバーがARICAに持ち寄る総合力が、上演作品の魅力を形作っています。そのユニークな力の「在処」を紹介し、今日の演劇のリアリティとは何かを、受講生のみなさんと考える場にしたと思います。講師は藤田康城(演出)、安藤朋子(アクター)、安東陽子(衣装)、福岡ユタカ(音楽)、前田圭蔵(制作)、高橋永二郎(装置)、須山悠里(デザイン)、倉石信乃(テキスト)の8名。

1/26藤田、2/9須山、2/23前田、3/2福岡、3/9高橋、3/16安東、3/23倉石、3/30安藤

ありか | 2001年設立。ソロを軸とするが、ゲストにダンサー、俳優、音楽家、美術家、映像作家らを迎え、多分野の人々とも共作。演劇の枠を超え、美術、音楽、建築、デザインと交響するパフォーマンスとして注目される。既成劇場によらぬサイト・スペシフィックな上演も多い。身体と共振するライブ演奏、メカニカルな装置の導入を通じ、身体表現の新たな地平を切り開いている。

<https://www.aricatheatercompany.com>

## BankART schoolの概要

時間 = 19:30～21:00

会場 = BankART Station

料金 = 1講座(全8回) 15,000円 入学金3,000円(初めての方のみ)

### アクセス

BankART Station 横浜市西区みなとみらい5-1

みなとみらい線「新高島駅」地下1階

お問い合わせ BankART スクール事務局

[school@bankart1929.com](mailto:school@bankart1929.com) TEL 045-663-2812

## お申し込み方法

右記のQRコードか、下記ウェブサイトからお申し込みください。折り返し、受講料お支払い方法をメールにてお知らせいたします。

<http://www.bankart1929.com/school/>

こちらのフォームからお申し込みができない場合は、[school@bankart1929.com](mailto:school@bankart1929.com)宛にメールにてお申し込みください。

※一旦納入された受講料は返金できません。

※講座によっては別途材料費・資料代がかかる場合があります。

※申し込み受付は定員になり次第、終了させていただきます。



申込フォーム